

令和5年度 第1回 評議会の概要報告

開催日	令和5年7月14日（金）14：00～15：05
開催場所	みなとみらいグランドセントラルタワー9階 神奈川支部内会議室
出席評議員	澤田委員、多田委員、田沼委員、永野委員、早坂委員 （五十音順）
議題	<p>(1) 令和4年度 決算報告</p> <p>(2) 令和4年度 神奈川支部事業報告</p> <p>(3) その他</p>
議事概要 (主な意見等)	<p>議題1. 令和4年度 決算報告</p> <p>事務局より議題1について説明</p> <p>【議長】 令和4年度決算報告について、ご意見、ご質問をいただきたい。</p> <p>【被保険者代表A】 協会けんぽの被保険者数について、2022年10月に国や自治体等に勤務する短時間労働者等が共済組合に移行したため大きく減少したとあるが、2024年に51名以上の事業所の短時間労働者等に適用が拡大されたときの協会けんぽの財政面への影響をどのように予測しているか。</p> <p>【事務局】 2022年度末の協会けんぽの被保険者数は、2022年10月の適用拡大（101人以上の事業所）によるプラスの要素よりも国や自治体等に勤務する短時間労働者等の共済組合移行によるマイナスの要素が大きかったため、2021年度末と比較し大幅に減った。 2024年の適用拡大により被保険者が増えれば、保険料収入は増加する。一方、医療給付費を中心とした支出は、被保険者の平均年齢が上がっていく中で、収入の増加を上回って増える可能性がある。このような状況を踏まえると、協会けんぽの財政は楽観を許さない。</p>

【学識経験者 A】

神奈川支部は、新型コロナウイルス感染症に関する医療費が他支部と比較して少ないとの説明があったが、神奈川県における新型コロナウイルス感染症の患者数は全国的にみて非常に多かった。医療費が抑えられている要因はなにか。

【事務局】

資料は、神奈川支部における新型コロナウイルス感染症にかかる医療費が他支部と比較して少ないということではなく、神奈川支部の新型コロナウイルス感染症にかかる医療費の伸び率(2021年度対比の伸び率)が他支部と比べて低いことを示している。なぜ、他支部と比べて伸び率が低かったのかについては、今後分析していきたい。

【学識経験者 B】

健康保険組合を取り巻く状況について資料が提示されたので補足する。健康保険組合の平均保険料率も上昇傾向にある。神奈川県内においても保険料率10%を超える健康保険組合が発生しており、全般的に運営は厳しい。

私の所属する健康保険組合では、保険料率9.2%と比較的低い方だが、近年の医療費の伸び率は高く運営は厳しくなっている。

健康保険組合が解散すると、受け皿となる協会けんぽの負担が増すことになるので、健康保険組合側もその点を意識した運営が必要である。

議題 2. 令和 4 年度 神奈川支部事業報告

事務局より議題 2 について説明

【議長】

令和 4 年度 神奈川支部事業報告について、ご意見、ご質問をいただきたい。

【被保険者代表 A】

広報については、引き続き紙媒体にこだわらず、Web やデジタルサイネージ等を活用した効果的な広報を継続してほしい。

被保険者の特定保健指導について、令和 4 年度の神奈川支部の実施率は9.7%と全国平均18.2%の半分程度であり、令和 3 年度比も微増に留まっている。

「かながわ健康企業宣言」の健康優良企業の認定基準として、認定ランク 4 (★★★★) では特定保健指導の実施率25%以上、認定ランク 5 (★★★★★) では特定保健指導の実施率50%以上という基準を設けているが、「かながわ健康企業宣言」に参加している約1,000事業所のうち、認定ランク 4～5 の事業所は参加事業所の10%未満の約90事業所に留まっている。

このような状況に鑑み、特定保健指導については、保健師や管理栄養士の訪問日数

を増やすなど、特定保健指導を受けやすい体制を整備するとともに、全国平均18.2%を上回っている支部の好事例も取り入れるようにして欲しい。

【事務局】

特定保健指導実施率の向上は、神奈川支部の大きな課題だと認識している。現在は、健診当日に特定保健指導を実施できる健診機関を増やすなどの取組みを進めている。

他支部の好事例も参考にして、次回以降の評議会で神奈川支部の来年度の取組みをお示ししたいと考えている。

【事業主代表A】

健診当日の特定保健指導の実施について事務局から説明があったが、この取組みを進めていくことが医療費の抑制、加入者の健康づくりにつながっていくので、ぜひ積極的に推進をしていただきたい。

広報については、関係団体と連携したきめ細やかな広報を実施しており、非常に効果的であると感じた。さらに「この疾病はこの地域で多い」・「この疾病はこの業態で多い」などの分析ができれば、各地方自治体や各業界団体と連携したよりきめ細やかな取組みを実施できると思う。

【事務局】

健診当日の特定保健指導の実施については積極的に推進していく。

関係団体との連携については、令和4年度は、県医師会や県薬剤師会にテレビ出演にご協力いただくなど、様々な団体と連携した広報等を実施することができた。

関係団体との連携については、引き続き強化をしていくほか、業界（業態）別の医療費の特色の分析などを通じて、業界団体とも連携していきたい。

【議長】

医療計画や医療費適正化計画にかかる意見発信について、具体的にはどのような意見を発信しているのか。

【事務局】

例えば、神奈川県内の保健医療計画では基金（地域医療介護計画総合確保基金）の活用が課題となっているが、地域（2次医療圏）ごとの基金執行額シェアが人口シェアに見合っているのか、といった観点等から意見発信を行っている。

そのほかに国のデータや神奈川県から提供されるデータに基づいた意見を発信している。

【学識経験者A】

神奈川支部の特徴として、事業所数は多いが、その事業所に所属する被保険者が少

ない事業所が数多く存在するといった特徴がある。

そのような事業所の被保険者は忙しく、自分の健康に目がいかず、健診受診日を後ろ倒しにしていくうちに受け忘れてしまうといったケースが多いと思う。

夜間に健診を受けられるなど、小規模の事業所の被保険者が健診を受けやすい環境づくりを推進して行ってほしい。

このような環境づくりが進めば、健診を受ける被保険者が増加し、結果として保険料率の低下にもつながると思う。

【事務局】

健診を受けやすい環境づくりを推進していくことは非常に重要なことであると認識している。商工会議所や業界団体などからもご意見をいただきながら環境づくりを進めていきたい。

特記事項	
------	--

- | | |
|-------|-----------|
| ・傍聴者 | なし |
| ・次回開催 | 令和5年10月予定 |